



今回は、学習支援ボランティアの報告です。

◇ 美濃加茂国際交流協会主催の学習支援“MIRAI”にボランティア参加

日時：平成30年6月22日(金)、27日(水) 18:30 ~ 20:30

場所：美濃加茂生涯学習センター

参加者：3年生希望者 1名

目的：外国人児童・生徒を対象とした学習支援にボランティアとして参加し、国際理解・多文化共生について実践的に学ぶ。

協力：NPO法人 美濃加茂国際交流協会 ボランティアのみなさん

◇ 外国人児童・生徒と多文化共生 ～ダイバーシティを考える～

3年生の希望者1名が、美濃加茂市の学習支援ボランティアに参加しました。今回は、市民ボランティアによる夜間の学習支援への参加です。美濃加茂国際交流協会(MIEA)は、市民の国際交流や地域での多文化共生を目的として結成されたNPO法人。MIEAでは、週2回、18:30~20:30の2時間、外国人児童・生徒対象の学習支援教室“MIRAI”を開いています。子どもたちに勉強を教えているのは、市民ボランティアの方々。

今回は、自身もブラジルに留学した経験のある3年生の田原晃成君がボランティアとして加わりました。田原君が流ちょうなポルトガル語で自己紹介をすると、教室内から歓声と拍手が上がり、あっという間に打ち解けた雰囲気となりました。

最新データでは、美濃加茂市の総人口(56,772人)に占める外国人の比率は約8.4%(4,791人)。国籍別内訳はブラジル2,078人、フィリピン1,927人、中国276人、ベトナム224人。外国人市民の多く住む美濃加茂市では、日本人と外国人が分け隔てなく、対等な美濃加茂市民として、誰もが安心して快適に生活できるよう、多文化共生推進プランが策定され、街づくりが進められています。



◇ SDGs 持続可能なまちづくりのために、自由で質の高い公教育を。



関高SGH課題研究では、国連のSDGsを基準にし、テーマを設定を行っています。Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の17の目標の中には、質の高い公教育の充実や、持続可能なまちづくりも掲げられています。

◇ 参加した生徒の感想

美濃加茂市生涯学習センターで日本語支援のボランティアをしてきました。

最初、みんなの前で日本語とポルトガル語で自己紹介をして始まったのですが、人懐っこい生徒さんたちのお陰ですぐに打ち解けることができました。そこでは、学校の宿題をやったり、ドリルをやったりと、思い思いの勉強をして分からない所があったら先生に質問するというかたちでした。中学校の勉強なので理解は出来るのですが、それを分かりやすく伝えるのは本当に至難の技だなと思いました。

ポルトガル語と日本語、ジェスチャーもフルに使いながら説明して、「分かった！」って言ってくれた時は嬉しい気持ちになりました。生徒のみんなは本当に明るくて人懐っこい人ばかりです。ですが、きっと僕が1年間ブラジルに行って異国の文化に慣れるのに大変だったように、いやそれ以上に、家庭の事情で何年間いるかも分からない日本で生活していくのは大変じゃないかと思いました。

そんな人たちを自分がブラジルで友達にしてもらったようにサポートしたいという気持ちになりました。授業が終わる時に、” Até próximo!” 「また今度」と約束したので来週もまた行きたいと思います。来週が楽しみです。

